

新商品

BRAVIA

ネットワークを利用してテレビをもっと楽しむ
高画質液晶テレビの新基準<ブラビア>J5000 及び J3000 シリーズ発売
~<ブラビア>専用のオンライン情報サービスや 別の部屋にあるコンテンツも手軽に視聴~



<ブラビア>地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ(上左から右)“J5000 シリーズ”『KDL-32J5000』『KDL-40J5000』
(上左から斜め下)“J3000 シリーズ”『KDL-20J3000』『KDL-26J3000』『KDL-32J3000』『KDL-40J3000』
(右上から斜め下)『KDL-20J3000/B』『KDL-26J3000/B』『KDL-32J3000/B』

ソニーは、液晶テレビ<ブラビア>から、動きの速い映像のぶれや映画特有の輪郭のゆれを抑えたなめらかな映像を再現し¹、さらに色階調表現を向上させる²など、高画質性能を高めたJ5000シリーズ及びJ3000シリーズを発売します。

今回発売の<ブラビア>は、テレビを視聴しながら<ブラビア>に最適化されたネットワーク経由の情報やコンテンツを手軽に閲覧できます。また、全機種 DLNA³に準拠しており、家庭内 LAN を介して普及が進む DLNA 機能対応の録画機や PC と組み合わせると好みの映像や音楽コンテンツをお楽しみいただけます。

本シリーズは液晶テレビの需要が急速に高まる中、リビングのメインテレビとしてはもちろん、パーソナルルーム用途としての2台目・3台目の買い増し需要にお応えする、テレビの楽しみ方を広げる新基準の高画質液晶テレビです。

型名	発売日	希望小売価格
地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ<ブラビア>		
J5000 シリーズ 『KDL-40J5000』(40V 型)	5月25日	オープン価格
『KDL-32J5000』(32V 型)	5月25日	
J3000 シリーズ 『KDL-40J3000』(40V 型)	4月25日	
『KDL-32J3000』 『KDL-32J3000/B』(32V 型)	4月25日	
『KDL-26J3000』 『KDL-26J3000/B』(26V 型)	4月25日	
『KDL-20J3000』 『KDL-20J3000/B』(20V 型)	4月25日	

J5000 シリーズ・J3000 シリーズ共通の主な特長

- ・ **テレビを見ながらネットワークを利用した情報の閲覧が可能な“アプリキャスト”**
ブロードバンド接続することでテレビを見ながら天気等の気になる情報が楽しめる
ソニーが運営する“アプリキャスト”機能を搭載。ネットワークを利用し、<ブラビア>
に最適化された便利なオンラインサービスとして今後もサービス・コンテンツを充実させて
行きます。また、テレビの新しいネット・サービス“アクトビラ”⁴にも対応してい
ます。

- ・ **別の部屋にあるコンテンツをテレビで楽しめる“ソニールームリンク”機能**
家庭内 LAN を使用した“ソニールームリンク”機能により、他社製品含め DLNA³ に対応
した機器であればリビングの録画機にある映像を寝室のテレビで鑑賞したり、書斎の PC
にある写真や音楽をリビングのテレビで楽しむことができます。

ソニールームリンク	DLNAなどのホームネットワークを介してさまざまな機器をつなぎ、 動画・音楽・写真などの楽しみ方を広げるソニー商品の機能名称です。
-----------	--

- ・ **色階調豊かなグラデーションを表現する“10bit パネル”²**
当社従来機種 S2500 シリーズに比べ約 64 倍の階調表現を持つ“10bit パネル”を搭載。
広色域バックライトシステム“ライブカラークリエーション”と組み合わせることで色鮮
やかで滑らかなグラデーションを表現します。

J5000 シリーズのみの主な特長

- ・ **スポーツ等のすばやい動きを残像感少なく再現できるだけでなく、映画特有の輪郭のゆれも
ソニー独自の技術“モーションフロー”でなめらかな動画で再現**
従来の 2 倍のスピード 120Hz で映像を映し出すとともに独自のアルゴリズムにより縦・
横・斜めの緻密な動きの検知や映像処理を行い、すばやい動きを残像感少なくお楽しみ
いただけます。また、映画特有のゆれもなめらかな動画で再現することが可能です。
- ・ **映画本来の質感が楽しめる 24p 信号に入力対応**
ブルーレイディスクフォーマットで規定されている映画本来の画質を楽しむ 24p 信号
に入力対応。映画フィルム（24 コマ/秒）からビデオ信号に変換される際に生じる
映像の劣化を発生させない為に、映画の記録方式をそのままテレビに入力し、映画そ
のものの高い質感を楽しめます。

1) J5000 シリーズ。 2) J3000 シリーズ（40V 型）及び J5000 シリーズ。

3) “デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス (Digital Living Network Alliance)”。

パソコン業界と家電業界の参加企業により、ホームネットワーク環境でデジタル AV 機器同士や、パソコンを
相互に接続することを目的として結成した団体。“DLNA ガイドライン”は、静止画や音楽、動画のファイルフ
ォーマットを規定し、これらのコンテンツを家庭内のどこからでもアクセスできるようにするための技術ガイ
ドラインです。

4) 「アクトビラ」はテレビポータルサービス㈱が提供するサービスです。

「アクトビラ」は原則無料でご利用いただけますが、一部有料のサービスもあります。

「アクトビラ」はテレビポータルサービス㈱の商標です。

詳細な特長：

【新たなテレビの楽しみ方】

・ テレビを見ながら、ネットワークを利用した情報の閲覧が可能な“アプリキャスト” アプリキャスト

ブロードバンド環境の普及に伴う新たなテレビの楽しみ方の提案として、テレビを見ながらネットワークを利用した情報コンテンツを閲覧できる機能“アプリキャスト”を搭載。PCによるインターネット閲覧ではなく<プラビア>に最適化した、より簡単で便利なオンラインサービスとしてソニーが運営。2007年3月末時点で、本機能に対応した Amazon.co.jp、楽天株式会社、ソネットエンタテインメント株式会社、ヤフー株式会社といったパートナーのコンテンツを予定しており、また今後も様々なコンテンツを増やしていくことで、より便利なサービスへと発展させてまいります。具体的なコンテンツとして、Amazon.co.jpの商品検索サービス、楽天市場の商品検索サービス、ソネットエンタテインメント株式会社から、ニュース、占い、天気予報、およびフォト共有サービス、ヤフー株式会社から、オークション、トピックス、および画像検索サービスなどが提供される予定です。このような様々なオンラインコンテンツを通じて、テレビを見ながらニュース、占い、天気予報をチェックするだけでなく、買い物やオークション、写真共有までも楽しむ事ができるようになることで、テレビの新たな楽しみ方を提案してまいります。

<アプリキャスト例>



XMB上に並んだコンテンツイメージ



アプリキャスト画面イメージ



コンテンツ展開イメージ

チャンネル選局と同様の操作で選択 テレビ(左)を見ながらコンテンツ(右)を楽しむ 気になる情報は選択して詳細を表示

“PostPet”はソネットエンタテインメント株式会社の商標または登録商標です。

・ 別の部屋にあるコンテンツをテレビで楽しむ“ソニールームリンク” ソニールームリンク

家庭内LANを介して他機器のコンテンツを楽しむ“ソニールームリンク”機能を搭載。他社製品含めDLNAに対応した機器であれば家庭内LANを構築することでリビングにある録画機に録りためた映像コンテンツを別の部屋のテレビで見たり、書斎のPCに保存してある写真や音楽をリビングのテレビで楽しむことができます。

<“ソニールームリンク”の使用シーン例>



リビングにあるコンテンツをベッドルームでも楽しむことができます

ソニールームリンク	DLNAなどのホームネットワークを介してさまざまな機器をつなぎ、動画・音楽・写真などの楽しみ方を広げるソニー商品の機能名称です。
-----------	--

“デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス (Digital Living Network Alliance)”

パソコン業界と家電業界の参加企業により、ホームネットワーク環境でデジタルAV機器同士や、パソコンを相互に接続することを目的として結成した団体。“DLNAガイドライン”は、静止画や音楽、動画のファイルフォーマットを規定し、これらのコンテンツを家庭内のどこからでもアクセスできるようにするための技術ガイドラインです。

・ テレビの新しいネット・サービス「アクトビラ」に対応

ブロードバンド回線に接続すれば、番組情報やエンタテインメント情報、ニュース・天気・株価・地図/交通等の生活関連情報などテレビをもっと楽しむための情報や、12ジャンルの公式サイトによるサービスが原則無料でご利用いただけます。また、リモコンだけの簡単な操作で、サービスを手軽にお楽しみいただくことが可能です。

「アクトビラ」はテレビポータルサービス㈱が提供するサービスです。

「アクトビラ」は原則無料でご利用いただけますが、一部有料のサービスもあります。

「アクトビラ」はテレビポータルサービス㈱の商標です。

【高画質化、広色域化技術】

・ 従来の2倍のスピード120Hzで映像を映し出すとともに、独自のアルゴリズムにより動きの速い映像を残像感少なく、映画特有の輪郭のゆれをなめらかな動画で再現する“モーションフロー”(J5000シリーズ)

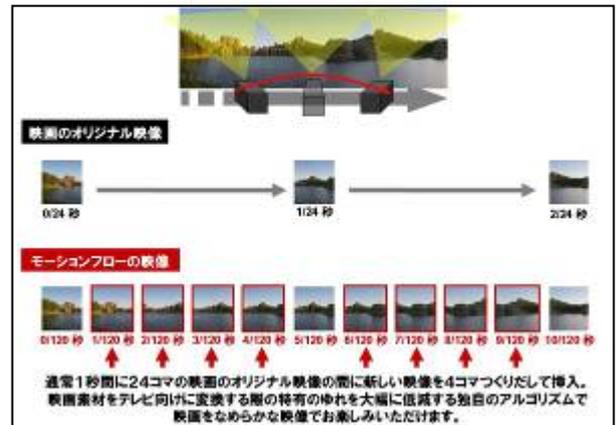


液晶テレビ特有のスポーツのすばやい動きにおける残像感をソニー独自の技術“モーションフロー”で低減し、なめらかな動画で再現します。また、独自のアルゴリズムにより縦・横・斜めの全方向の動きにしっかりと対応します。

さらに、映画素材特有のパターンを自動的に検知し、オリジナルのフレーム間に4フレーム分の映像をつくり出すことで映画特有の輪郭のゆれを大幅に低減し、DVDやブルーレイディスク、テレビ番組などの映画コンテンツをなめらかな動きでお楽しみいただけます。また、効果の強弱を好みに合わせて選べる3種類の設定をご用意しています。



スポーツ等の動きの速い映像に対する処理イメージ



映画素材に対する処理イメージ

・ 色階調豊かなグラデーションを表現する“10bit パネル”(J3000シリーズ 40V型、J5000シリーズ)

当社従来機種 S2500 シリーズに比べて約 64 倍の階調表現を持つ“10bit パネル”を搭載。広色域バックライトシステム“ライブカラークリエーション”と組み合わせることで夕日などの映像を色鮮やかで階調豊かな滑らかなグラデーションで表現します。

< 10bit パネルによる効果の比較イメージ >



従来の映像



10bit パネル

・ 自然な色で映像を再現する広色域バックライトシステム“ライブカラークリエーション”¹

色鮮やかな映像を再現するには、映像信号処理回路に加え光源となるバックライトが重要となります。“ライブカラークリエーション”のバックライトでは、ソニーが独自に開発した蛍光体により、青、緑、赤の3原色全ての波長の純度を向上し、更に純度の低い青や緑が混色しないようにサブピーク²を抑えることにより、より鮮やかで純度の高い色再現が可能となりました。色再現力を当社従来 CCFL³方式液晶テレビ比約120%⁴ NTSC比⁵約102%に拡大しました。従来のテレビが苦手としていた「真紅」や「深い緑」「鮮やかな青」といった色を映し出し、色鮮やかで繊細な色合いを再現します。

1) 『KDL-26J3000』 『KDL-26J3000/B』(26V型) 『KDL-20J3000』 『KDL-20J3000/B』(20V型)を除く。

2) 色を濁らしてしまう余分な光成分。

3) CCFL(Cold Cathode Fluorescent Lamp)の国内名称は「冷陰極蛍光管」。

照明の蛍光灯と同様の原理で発光し、低消費電力である。液晶テレビのバックライトとして一般的に用いられている。

4) u'v'色度図による、当社従来 CCFL方式液晶テレビ比。

5) u'v'色度図によるNTSC比。

NTSC(National Television System Committee)が、1953年に策定した従来テレビ(地上アナログ放送)方式。

・ 精細感が高い豊かな映像表現を実現する高画質回路“ブラビアエンジン”

高画質化の重要な要素を占める各種映像処理技術を、より最適化させたフルデジタルの高画質回路が“ブラビアエンジン”です。アナログ放送はもちろん、デジタルハイビジョンの魅力であるノイズが少なく精細感ある映像をさらに際立たせるとともに、コントラスト向上による豊かな陰影を再現し、色鮮やかで深みのある映像をつくり出します。

1) より色鮮やかな映像を再現：

カラープロセッサにより、表示デバイスの能力を最大限発揮させる色彩表現が可能になります。他の色に影響を与えることなく、特定の色をより鮮鋭に引き出すことができます。抜けるような空の青さ、萌えるような木々の緑、鮮やかな空に広がる雲の白さを表現でき、より自然の美しさを引き出します。

2) より奥行き感や立体感のある映像を再現：

一つ一つの映像シーンを分析し、最適なコントラストバランスを検出。明るいシーンでは白の階調表現をアップさせ「白トビ」を抑え、立体感のある映像を実現します。また、暗いシーンでは黒の階調表現をアップし「黒つぶれ」を抑え、深みのある画質をつくり出します。コントラスト比の高い液晶パネルとの相乗効果によって、より奥行き感や立体感のある映像を再現します。

3) MPEG ノイズリダクションによりクリアな映像を再現：

MPEG 圧縮された映像の字幕やテロップ、またデジタルレコーダーなどで録画する際に圧縮された映像に発生しやすい「モスキートノイズやブロックノイズ」を低減。これにより字幕やテロップもくっきりと見やすくなります。

4) より精細感あふれる映像を再現：

ディテールエンハンサーで緻密な輪郭補正を行うことにより、細かい部分までくっきりと精細感あふれる映像を再現します。

・ 映像の明暗を自動検知し、暗部の再現能力を高める“アドバンスト・コントラストエンハンサー”

映像の明暗を自動検知して階調表現を上げるだけでなく、暗い映像の時にはバックライトの輝度も自動で調整することにより、光漏れによる黒浮きや、黒を沈めすぎて発生する黒つぶれ等を起こさずに、暗部の階調表現を向上させました。より上質な黒の映像表現が可能になると同時に輝度を変化させることで変化しがちな色調も補正し、自然な色調の陰影を表現します。暗部の深い黒を引き締めながらもつぶさずに、きめ細やかに映し出すことが可能になりました。

【映画を楽しむ為の新機能】

・ブルーレイディスクフォーマットで規定されている、映画本来の画質を楽しむための 24p 出力に対応した 24p 信号に対応。映画フィルム（24コマ/秒）からビデオ信号に変換される際に生じるさまざまな画質劣化を発生させないために、映画の記録方式をそのままテレビに入力し、映画そのものの高い質感を楽しめます。（J5000シリーズ）

・映画鑑賞に適した画質モード「シネマ」を株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメントと共同開発。映画製作者の意図をより忠実に再現し、オリジナルにより忠実な画質を再現します。

・“HDMIコントロール”機能を搭載し、シアタースタンドシステム「RHT-G800」（5月25日発売予定）とHDMI経由で操作連携が可能になりました。J3000シリーズはリモコンの「オプション」ボタンから設定すると、自動的にテレビから「RHT-G800」の音声に切り替わると共に、以降の音量調整はテレビのリモコンでも可能になります。また、電源も連動させることで一斉にオフにするなども可能です。さらに、J5000シリーズは付属しているリモコンの“シアターボタン”を押すだけで「RHT-G800」への音声切り替えだけでなく、同時に映画に最適な画質モード「シネマ」設定になりますので、今まで以上に映画を簡単・快適にお楽しみいただけます。

【高音質技術】

・ 映画館のような音場をつくりだす高音質性能“S-Force(エス・フォース)フロントサラウンド”

ソニー独自のマルチサラウンドシステムにより、単なる 5.1ch ではなく映画館と同じマルチサラウンドの音場を、テレビのスピーカーだけで擬似的につくり出します。音声周囲を取り巻くような迫力のサラウンドを楽しめます。



S-Force フロントサラウンドの効果イメージ

【デザイン】

・ 本体の色・素材感を進化させた新デザインを採用

J3000シリーズではお好みにあわせインテリアに溶け込むシルバーと、存在感を主張するブラックの2色のカラーバリエーションをご用意しました¹⁾。2色共上質な質感を演出するマットな仕上げ。J5000シリーズは黒御影の質感を醸成する黒を基調色に、アルミ粉末を配合した本体塗料によるシックで美しい仕上げとし、さらにスピーカー部分につややかな光沢処理を施すことで多様な質感を楽しめるデザインを採用しました。

1) 『KDL-40J3000』(40V型)はシルバー色のみ。

【便利機能】

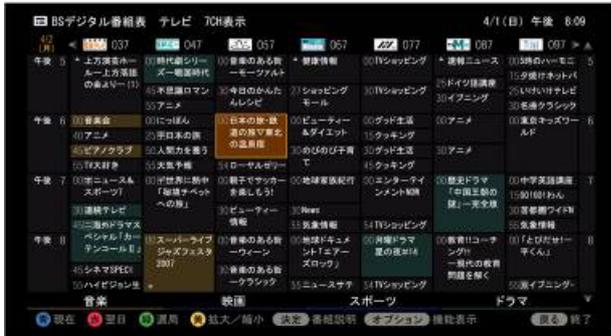
・ “シンプルリモコン”に加え、画面を見ながら操作できる XMB(クロスメディアバー)を装備

J3000シリーズ、J5000シリーズの基本的な機能をより使いやすくする為に、チャンネル選局ボタンのサイズや、リモコンに表記されている文字を大きくすることで押しやすく、見やすくした“シンプルリモコン”を採用。さらに、様々な機能を簡単に扱えるようテレビ画面に映る大きな文字を見ながら快適に操作できる XMB(クロスメディアバー)を装備しました。

) “XMB”, “xross media bar” および “” はソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。

・ **テレビの視聴に合わせた番組表で見たい番組を見逃さない“新番組表”**

最大7チャンネル表示が可能なラテ欄形式の“週間番組表”から見たい番組を確認、テレビ視聴中は“現在番組表”で視聴中の番組を見ながら裏番組や次の番組を確認できます。また、“お好みナビ”機能によりお客様の視聴傾向を自動分析し番組表中に 印でおすすめ番組を表示する他、キーワード登録しておけば適合番組に 印を表示します。さらに、最もおすすめの番組が開始される直前に、現在視聴中の番組の画面右下にお知らせするアイコンを表示することで、見たい番組を見逃さないための便利な機能を装備しています。



ラテ欄表示形式の週間番組表



現在番組表



お好みナビアイコン表示例

・ **1080p 対応 HDMI 入力端子搭載**

J3000シリーズは1080p対応HDMI入力端子を背面に2端子装備。また、J5000シリーズは1080p対応HDMI端子3端子のうち1端子を側面に配置することで、ハイビジョンハンディカムなど抜き差しの多い機器にも便利にお使いいただけます。

・ **“番組子画面”機能**

外部入力画面と放送視聴中画面の2画面をテレビの画面上に左右に表示可能。録画した番組やDVD等を視聴中に、放送中のスポーツやニュースなどの番組が確認出来ます。また、PC入力時には全画面表示のPC画面内に放送視聴中の番組を子画面で画面の四隅に移動させながら確認することが可能です。

・ **デジタルカメラで撮りためた写真¹をテレビの大画面で楽しむ**

J5000シリーズにおいてはUSB端子を経由してデジタルカメラで撮りためた写真¹を50枚のサムネイル表示できる他、5種類のエフェクトと組みあわせてBGM²付きのスライドショー再生も可能。また、写真表示の際はソニーのデジタル一眼レフカメラ「(アルファ)」のエンジニアと共同で開発した写真鑑賞に最適な画質モード「フォト」に自動で切り替えてご覧いただけます。さらに、デジタルカメラで撮影した動画³もテレビで楽しめます。J5000シリーズ J3000シリーズともに“ソニールームリンク”機能でPCなどに保存した静止画を同様に楽しむことが可能です。



サムネイル表示の画面イメージ

1) JPEGに対応 2) MP3フォーマットのみ。本体にはプリセットされていません 3) ソニー製デジタルカメラで撮影したMPEG-1ファイルのみ

・ 日常生活に安心・便利

- “オンタイマー”機能：電源オンの曜日・時間・放送サービス・チャンネル・音量視聴時間などきめ細かく設定可能になり、目覚まし代わりにご使用いただけます。
- “消音ポン”機能：リモコンの消音ボタンを押すと、消音状態で電源が立ち上がり深夜のテレビ視聴など、周囲を気にすることなくテレビをお楽しみいただけます。
- “明るさセンサー”：テレビを視聴する環境の明るさに合わせて、バックライトを最適に自動調節します。それにより視聴環境に最適な輝度で映像をお楽しみいただけるとともに、不要な電力の消費も抑えることが可能です
- 液晶パネル部 2年保証：厳密な品質管理によって液晶パネル部のメーカー保証を2年間としており、安心してお使いいただけます。

※<アプリキャスト>参加予定各社（2007年3月末時点）

・ Amazon.co.jp

URL: www.amazon.co.jp

2000年11月1日に営業を開始したAmazon.co.jpは、お客様がオンラインで求めるあらゆるものを検索、発見できる、世界で最も顧客重視の企業であることを目指している。現在Amazon.co.jpは、1,000万タイトルを超える和書、洋書、CD、DVD、ビデオ、PCソフトウェア、ゲーム、エレクトロニクス、ホーム&キッチン、おもちゃ&ホビー、スポーツ関連商品、ヘルス&ビューティアイテムを取り扱っている。

・ 楽天株式会社

URL: <http://www.rakuten.co.jp/>

日本最大級のインターネットショッピングモールである「楽天市場」を運営する。その他、金融、トラベル、ポータルメディア、プロスポーツ事業など多岐に渡る事業を運営。

・ ソネットエンタテインメント株式会社

URL: <http://www.so-net.ne.jp/>

インターネット関連サービス「So-net（ソネット）」を運営するソニーグループのISP。その他にもデジタルテレビ向けポータルサービス企画・運営のテレビポータルサービス(株)にも出資している。

・ ヤフー株式会社

URL: <http://www.yahoo.co.jp/>

インターネット上での日本最大のポータルサイトを運用する。ショッピングやオークションなどのe コマース事業や動画サービスなどの様々なコンテンツサービスを手がけている。

Xシリーズに美しい質感で存在感を演出する“ピアノブラック”X2550 を追加発売



<ブラビア>地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ “X2550 シリーズ” 『KDL-52X2550』

フラッグシップモデルとして現在発売している<ブラビア> X2500 シリーズにおいて美しい質感でお部屋の中で存在感を演出する “ピアノブラック” モデルを追加発売します。

“ピアノブラック”とは、本来はピアノなどの高級楽器に使用されていた塗装手法である漆のように重ね塗りしたピアノフィニッシュ塗装を施し、光沢がありながら深みのある本体色を実現。X2500 シリーズの新色として 40V 型・46V 型・52V 型のサイズバリエーションをご用意しています。

型名	発売日	希望小売価格
地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ<ブラビア> X2550 シリーズ 『KDL-52X2550』(52V 型)	4月25日	オープン価格
『KDL-46X2550』(46V 型)	4月25日	
『KDL-40X2550』(40V 型)	4月25日	

主な仕様 『KDL-32J5000』 『KDL-40J5000』

	『KDL-32J5000』	『KDL-40J5000』
画面サイズ	32V 型	40V 型
パネル解像度 (画素：水平×垂直)	ワイド XGA 1,366×768	
画面輝度	450cd/m ²	
視野角*1	上下左右 178 度	
コントラスト比*2	1,600:1	
パネル応答速度	8msec	
有効画面寸法	69.8×39.2cm(幅×高) 80.0cm(対角径)	88.5×49.8cm(幅×高) 101.5cm(対角径)
入力対応信号	1125p, 1125i, 750p, 525p, 525i	
受信チャンネル	VHF:1~12ch, UHF:13~62ch, CATV:C13~C63 地上デジタル放送:000~999ch, BS デジタル放送:000~999ch, 110 度 CS デジタル放送:000~999ch	
映像部	地上・BS・110 度 CS デジタルチューナー/地上アナログチューナー、 ブラビアエンジン, ライブカラークリエーション, モーションフロー	
音声部	実用最大出力 10W+10W(JEITA)	
入出力端子	HDMI 入力端子:3 系統 3 端子(側面:1 系統 1 端子、背面:2 系統 2 端子) コンポーネント入力端子:2 系統 2 端子(D5 映像入力端子:2 系統 2 端子) ビデオ入力端子:3 系統 3 端子(S2 映像入力端子:2 系統 2 端子) PC 入力端子(D-sub15 ピン):1 系統 1 端子 PC 音声入力端子(ステレオミニ):1 系統 1 端子 USB 端子:1 系統 1 端子 デジタル放送/ビデオ出力端子:1 系統 1 端子(S2 映像出力端子:1 系統 1 端子) 光デジタル音声出力端子(AAC/PCM 出力):1 系統 1 端子 音声出力端子:1 系統 1 端子 AV マウス出力端子:1 端子 ヘッドホン端子(ステレオミニジャック):1 端子 電話回線端子(モデム内蔵)最大 2400bps:1 端子 LAN 端子(10BASE-T/100BASE-TX):1 端子	
消費電力 (待機時)	167W (0.07W)	185W (0.08W)
年間消費電力量	146kWh/y	161kWh/y
質量 (スタンド含む)	15.5kg (18.0kg)	21.5kg (25.5kg)
外形寸法 (スタンド除く)	79.0×53.0×10.0cm (幅×高さ×奥行)	98.1×64.3×11.0cm (幅×高さ×奥行)
外形寸法 (スタンド含む)	79.0×58.1×21.4cm (幅×高さ×奥行)	98.1×69.6×26.5cm (幅×高さ×奥行)
付属品	リモコン『RM-JD011』、転倒防止用ベルト、VHF/UHF 用アンテナ接続ケーブル(2.5m)、B-CAS カード、テレホンコード(10m)、モジュラーテレホンコードカバー、乾電池(単 3×2)、取扱説明書、保証書など	リモコン『RM-JD011』、電源コード(2.5m)、転倒防止用ベルト、VHF/UHF 用アンテナ接続ケーブル(2.5m)、B-CAS カード、テレホンコード(10m)、モジュラーテレホンコードカバー、乾電池(単 3×2)、取扱説明書、保証書など
別売アクセサリ	『SU-WL500』新発売(32V/40V 型用壁掛けユニット) 希望小売価格 26,250 円(税抜価格 25,000 円)	

1) JEITA 規格準拠(コントラスト比 10:1)。 2) 液晶テレビとして。

主な仕様 『KDL-20J3000』 『KDL-26J3000』 『KDL-32J3000』 『KDL-40J3000』

	『KDL-20J3000』	『KDL-26J3000』	『KDL-32J3000』	『KDL-40J3000』
画面サイズ	20V 型	26V 型	32V 型	40V 型
パネル解像度 (画素：水平×垂直)	ワイド XGA 1,366×768			
画面輝度	450cd/m ²			
視野角*1	上下左右 178 度			
コントラスト比*2	1,100:1	1,300:1	1,600:1	
パネル応答速度	8msec			
有効画面寸法	44.5×25.0cm (幅×高) 51.0cm(対角径)	57.6×32.4cm (幅×高) 66.1cm(対角径)	69.8×39.2cm (幅×高) 80.0cm(対角径)	88.5×49.8cm (幅×高) 101.5cm(対角径)
入力対応信号	1125p,1125i,750p,525p,525i			
受信チャンネル	VHF:1~12ch, UHF:13~62ch, CATV:C13~C63 地上デジタル放送:000~999ch, BS デジタル放送:000~999ch, 110 度 CS デジタル放送:000~999ch			
映像部	地上・BS・110 度 CS デジタルチューナー/地上アナログチューナー、 ブラビアエンジン、ライブカラークリエーション 3			
音声部	実用最大出力 5W+5W(JEITA)	実用最大出力 10W+10W(JEITA)		
入出力端子	HDMI 入力端子:2 系統 2 端子 コンポーネント入力端子:2 系統 2 端子 (D5 映像入力端子:2 系統 2 端子) ビデオ入力端子:3 系統 3 端子 (S2 映像入力端子:2 系統 2 端子) PC 入力端子 (D-sub15 ピン):1 系統 1 端子 PC 音声入力端子 (ステレオミニ):1 系統 1 端子 デジタル放送/ビデオ出力端子:1 系統 1 端子 (S2 映像出力端子:1 系統 1 端子) 光デジタル音声出力端子 (AAC/PCM 出力):1 系統 1 端子 音声出力端子:1 系統 1 端子 AV マウス出力端子:1 端子 ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック):1 端子 電話回線端子 (モデム内蔵)最大 2400bps:1 端子 LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX):1 端子			
消費電力 (待機時)	74W (0.4W)	102W (0.06W)	157W (0.07W)	180W (0.08W)
年間消費電力量	73kWh/y	95kWh/y	137kWh/y	144kWh/y
質量 (スタンド含む)	7.0kg (8.5kg)	12.0kg (14.5kg)	15.0kg (17.5kg)	21.0kg (25.0kg)
外形寸法 (スタンド除く)	49.7×35.8×9.9cm (幅×高さ×奥行)	65.6×45.2×9.6cm (幅×高さ×奥行)	79.0×53.0×10.0cm (幅×高さ×奥行)	98.1×64.3×11.0cm (幅×高さ×奥行)
外形寸法 (スタンド含む)	49.7×39.5×19.9cm (幅×高さ×奥行)	65.6×50.4×21.4cm (幅×高さ×奥行)	79.0×58.1×21.4cm (幅×高さ×奥行)	98.1×69.6×26.5cm (幅×高さ×奥行)
付属品	リモコン 『RM-JD010』、電源コード (2.5m) 4、AC パワーアダプター (2m・ KDL-20J3000 のみ)転倒防止用ベルト、VHF/UHF 用アンテナ接続ケーブル(2.5m)、 ケーブルホルダー 4、B-CAS カード、テレホンコード(10m)、モジュラーテレホ ンコードカプラー、乾電池 (単 3×2)、取扱説明書、保証書など			
別売アクセサリ	『SU-WL100』新発売(20V/26V 型用壁掛けユニット) 希望小売価格:16,800 円 (税抜価格 16,000 円) 『SU-WL500』新発売(32V/40V 型用壁掛けユニット) 希望小売価格 26,250 円 (税抜価格 25,000 円)			

1) JEITA 規格準拠(コントラスト比 10:1)。 2) 液晶テレビとして。 3) KDL-26J3000・KDL-26J3000/B(26V 型)・KDL-20J3000・KDL-20J3000/B(20V 型)を除く。 4) KDL-26J3000・KDL-32J3000・KDL-40J3000 は本体に付いています。

主な仕様 『KDL-40X2550』 『KDL-46X2550』 『KDL-52X2550』

	『KDL-40X2550』	『KDL-46X2550』	『KDL-52X2550』
画面サイズ	40V 型	46V 型	52V 型
パネル解像度 (画素：水平×垂直)	フル HD 1,920×1,080		
画面輝度	450cd/m ²		
視野角*1	上下左右 178 度		
コントラスト比*2	1,500:1		
パネル応答速度	8msec		
有効画面寸法	88.5×49.8cm(幅×高) 101.5cm(対角径)	101.8×57.3cm(幅×高) 116.8cm(対角径)	115.2×64.8cm(幅×高) 132.2cm(対角径)
入力対応信号	1125p, 1125i, 750p, 525p, 525i		
受信チャンネル	VHF:1~12ch, UHF:13~62ch, CATV:C13~C63 地上デジタル放送:000~999ch, BS デジタル放送:000~999ch, 110 度 CS デジタル放送:000~999ch		
映像部	地上・BS・110 度 CS デジタルチューナー/地上アナログチューナー、 ブラビアエンジンプロ, ライブカラークリエーション		
音声部	実用最大出力 11W+11W(JEITA)		
入出力端子	HDMI 入力端子:3 系統 3 端子(側面:1 系統 1 端子、背面:2 系統 2 端子) コンポーネント入力端子:2 系統 2 端子(D5 映像入力端子:2 系統 2 端子) ビデオ入力端子:3 系統 3 端子(S2 映像入力端子:2 系統 2 端子) PC 入力端子(D-sub15 ピン):1 系統 1 端子 PC 音声入力端子(ステレオミニ):1 系統 1 端子 デジタル放送/ビデオ出力端子:1 系統 1 端子(S2 映像出力端子:1 系統 1 端子) 光デジタル音声出力端子(AAC/PCM 出力):1 系統 1 端子 音声出力端子:1 系統 1 端子 AV マウス出力端子:1 端子 ヘッドホン端子(ステレオミニジャック):1 端子 電話回線端子(モデム内蔵)最大 2400bps:1 端子 LAN 端子(10BASE-T/100BASE-TX):1 端子		
消費電力 (待機時)	240W (0.09W)	288W (0.09W)	329W (0.09W)
年間消費電力量	210kWh/y	255kWh/y	289kWh/y
質量 (スタンド含む)	30.0kg (35.0kg)	36.0kg (41.0kg)	46.5kg (54.0kg)
外形寸法 (スタンド除く)	111.1×65.7×12.3cm (幅×高さ×奥行)	126.2×73.4×12.3cm (幅×高さ×奥行)	141.5×82.7×12.5cm (幅×高さ×奥行)
外形寸法 (スタンド含む)	111.1×71.7×32.2cm (幅×高さ×奥行)	126.2×79.5×32.2cm (幅×高さ×奥行)	141.5×89.0×38.4cm (幅×高さ×奥行)
付属品	リモコン『RM-JD007B』、転倒防止用ベルト、VHF/UHF 用アンテナ接続ケーブル(2.5m)、 ケーブルホルダー、B-CAS カード、テレホンコード(10m)、モジュラーテレホンコードカ プラー、AV マウス(1.5m)×1、乾電池(単 3×2)、取扱説明書、保証書など		
別売アクセサリ	『SU-WL51』既発売(40V 型/46V 型/52V 型用壁掛けユニット) 希望小売価格 47,250 円(税抜価格 45,000 円)		

1) JEITA 規格準拠(コントラスト比 10:1)。 2) 液晶テレビとして。

市場推定価格	： 『KDL-20J3000』 『KDL-20J3000/B』	120,000 円前後
	： 『KDL-26J3000』 『KDL-26J3000/B』	170,000 円前後
	： 『KDL-32J3000』 『KDL-32J3000/B』	210,000 円前後
	： 『KDL-40J3000』	280,000 円前後
	： 『KDL-32J5000』	230,000 円前後
	： 『KDL-40J5000』	300,000 円前後
	： 『KDL-40X2550』	420,000 円前後
	： 『KDL-46X2550』	490,000 円前後
	： 『KDL-52X2550』	720,000 円前後

「市場推定価格」は、発売前の製品について、市場での販売価格を当社が推定したものです。なお、製品の実際の販売価格は、各販売店により決定されます。

ソニーブラビアホームページ <http://www.sony.co.jp/BRAVIA/>